

産業構造審議会産業金融部会

中間報告の骨子

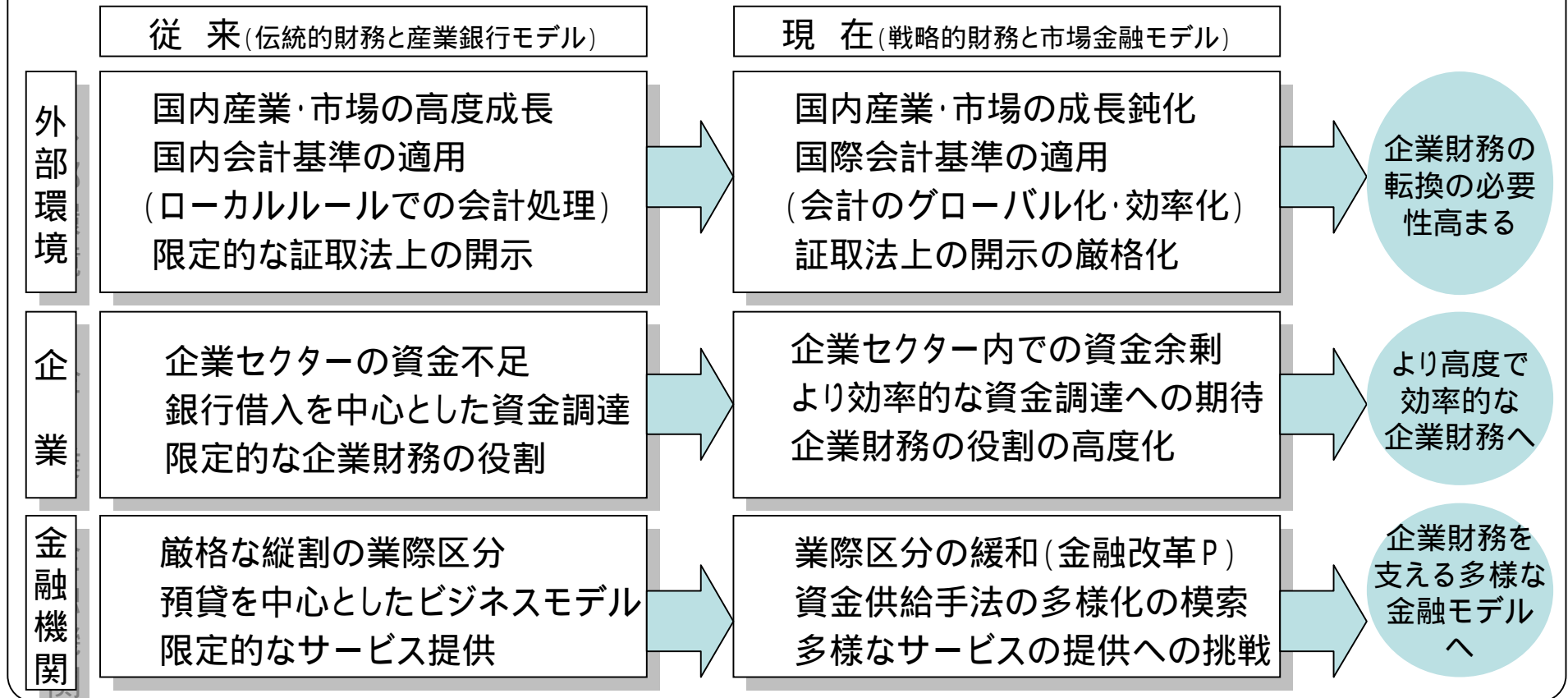
平成17年9月

経済産業省経済産業政策局

産業資金課

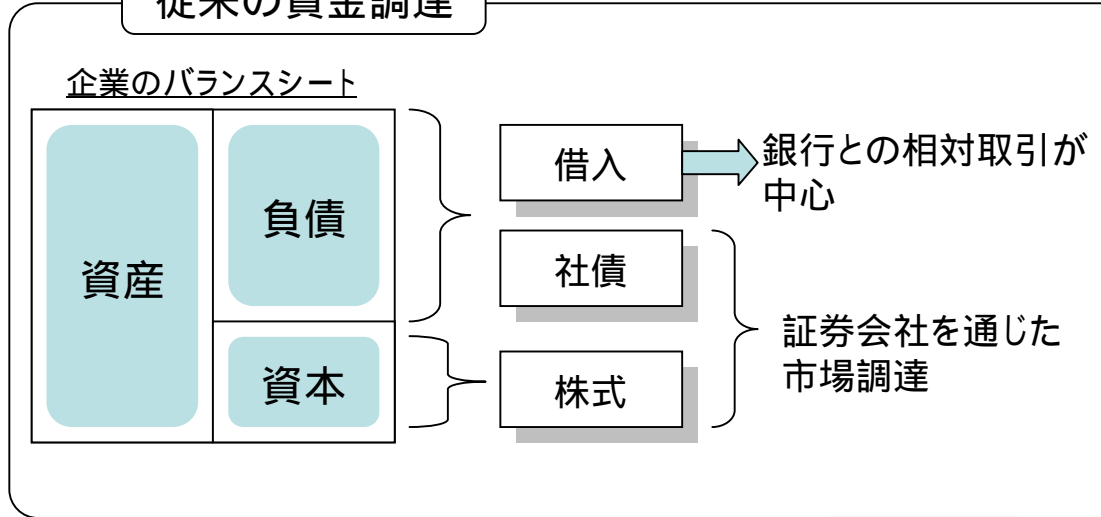
産業金融を取り巻く環境変化

平成16年8月より実施した企業や金融機関などへのヒアリングや、小委員会での発表・コメント・アンケートを通じて、産業金融をめぐるパラダイムシフトが進行していることが明らかになった。



新たに多様な役割を求められる企業財務とそれを支える金融サービスのあり方について、(資金調達)、(資金運用)、(リスクファイナンス)、(金融サービスの新しい担い手)の観点から検討する。

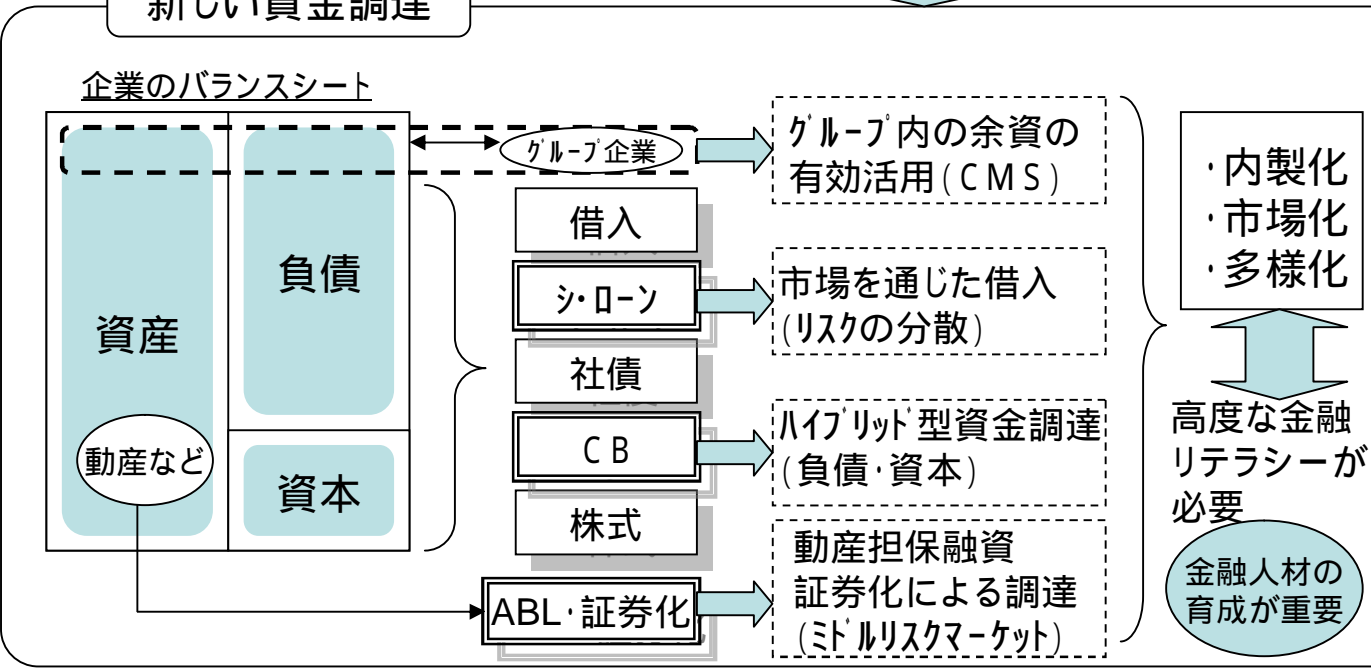
従来の資金調達



課題

過度に銀行に依存した資金調達
(バブル崩壊時に調達困難)
業際区分による資金調達の非効率
(多様で効率的な資金調達の阻害)
ミドルリスクマーケットの未発達
(リスクの加工・分解スキルの未熟、
リスクの担い手の不存在)

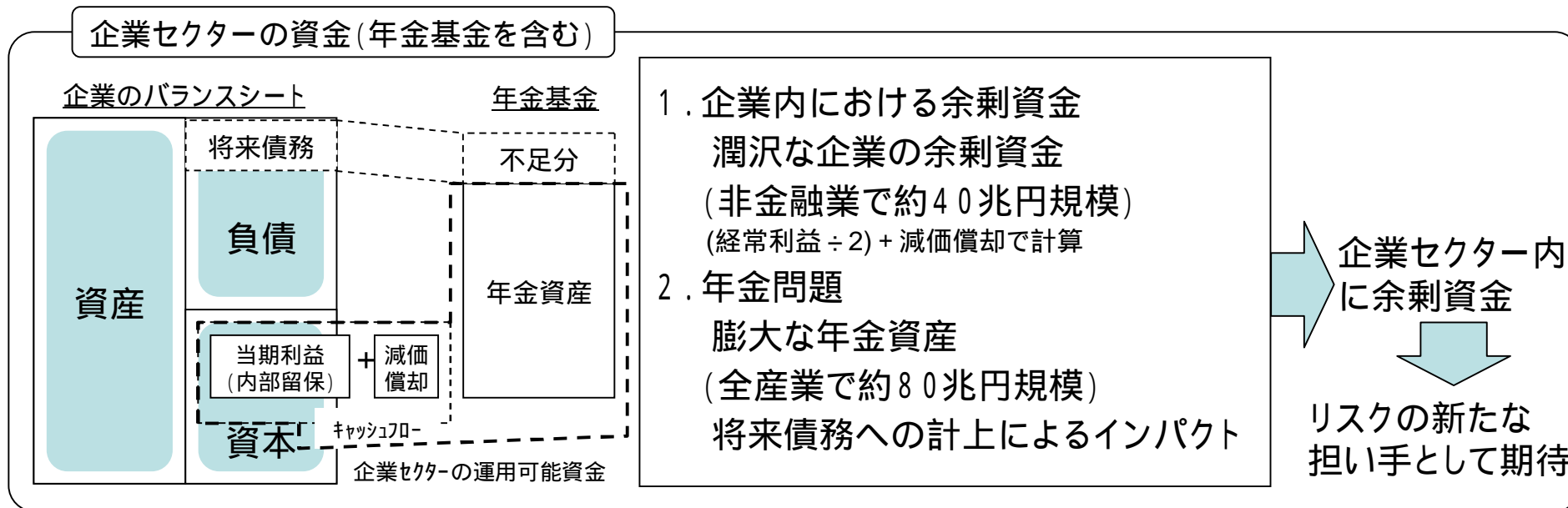
新しい資金調達



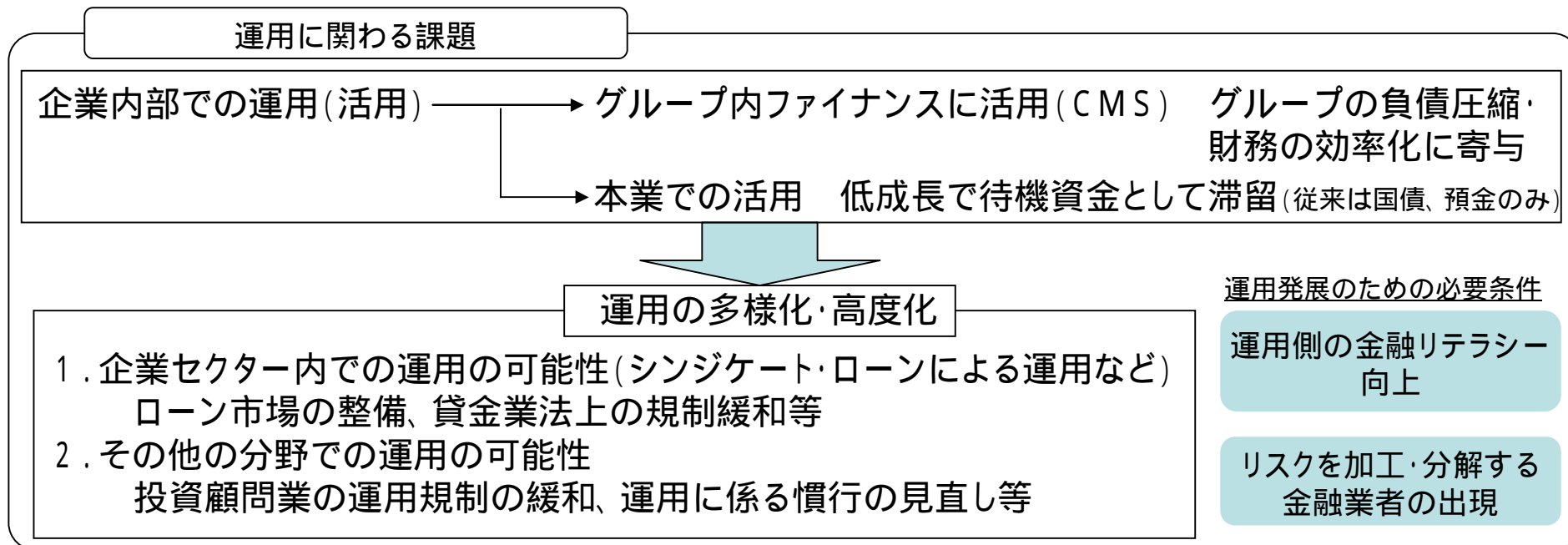
新しい方向性

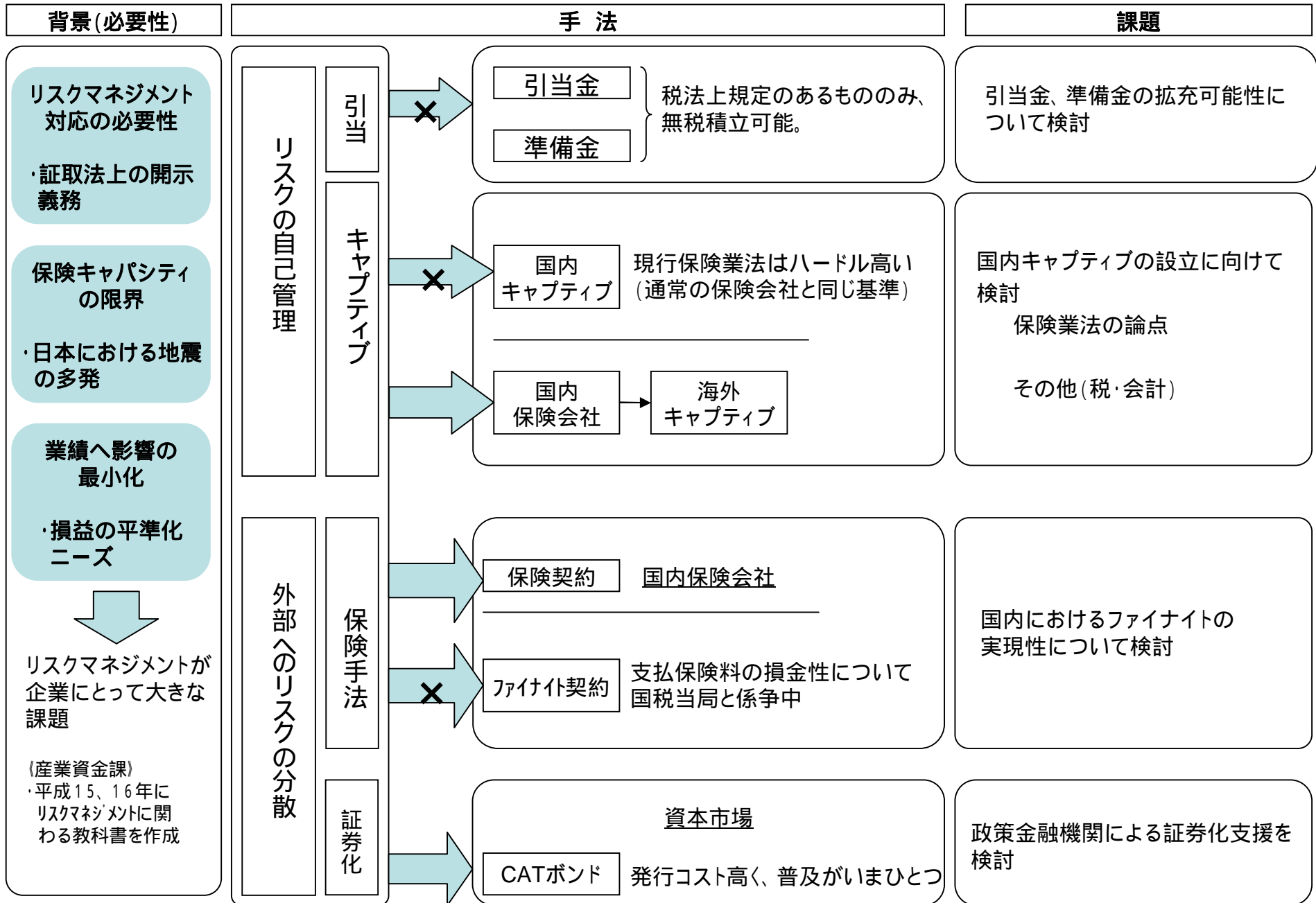
内製化をサポートする制度整備(保険業法、貸金業法等)
市場化をサポートする環境整備(シ・ローン市場の整備、電子債権法、貸金業法、セキュリティトラスト)
多様化を支える環境整備(投資サービス法、金融所得一元化税制、貸金業法、信託法・信託業法改正等)

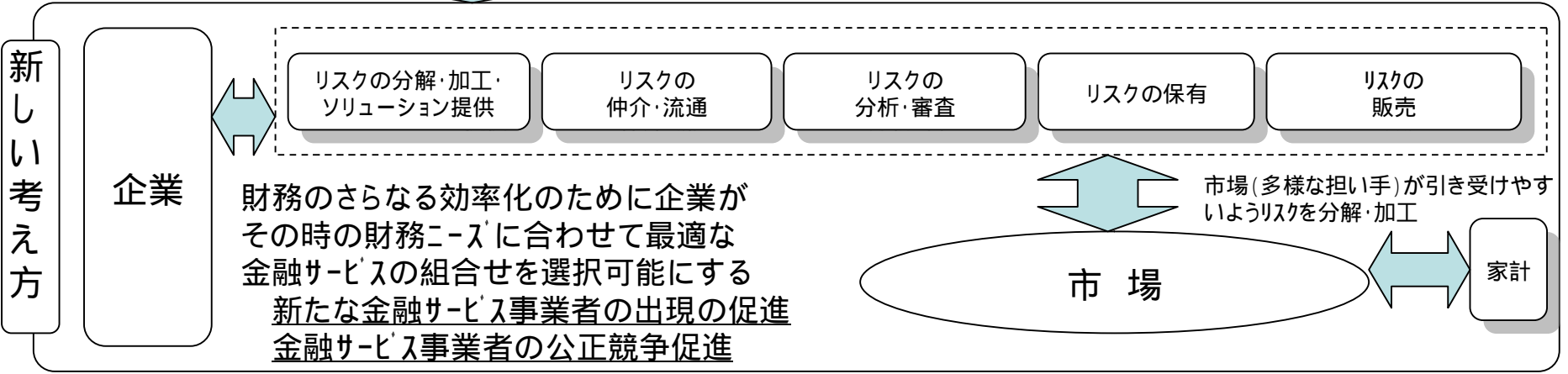
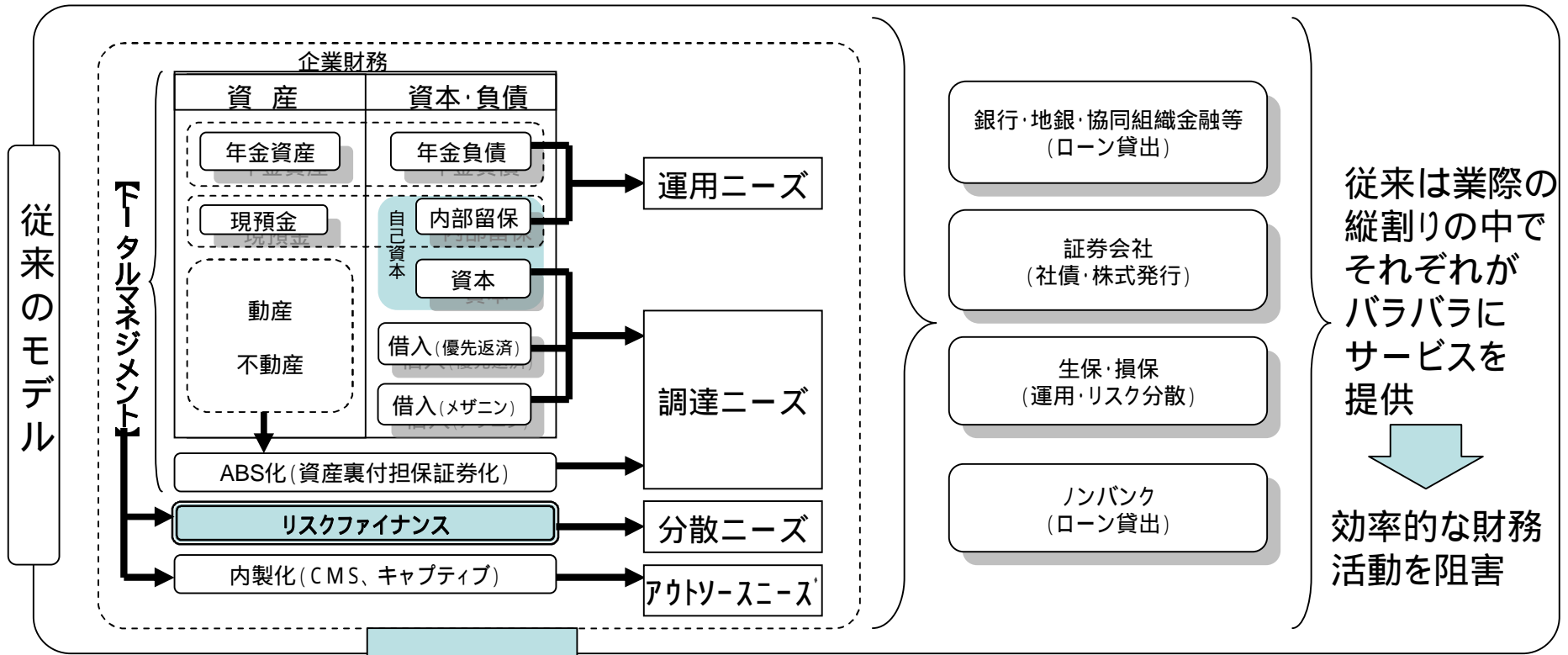
企業セクターの資金(年金基金を含む)



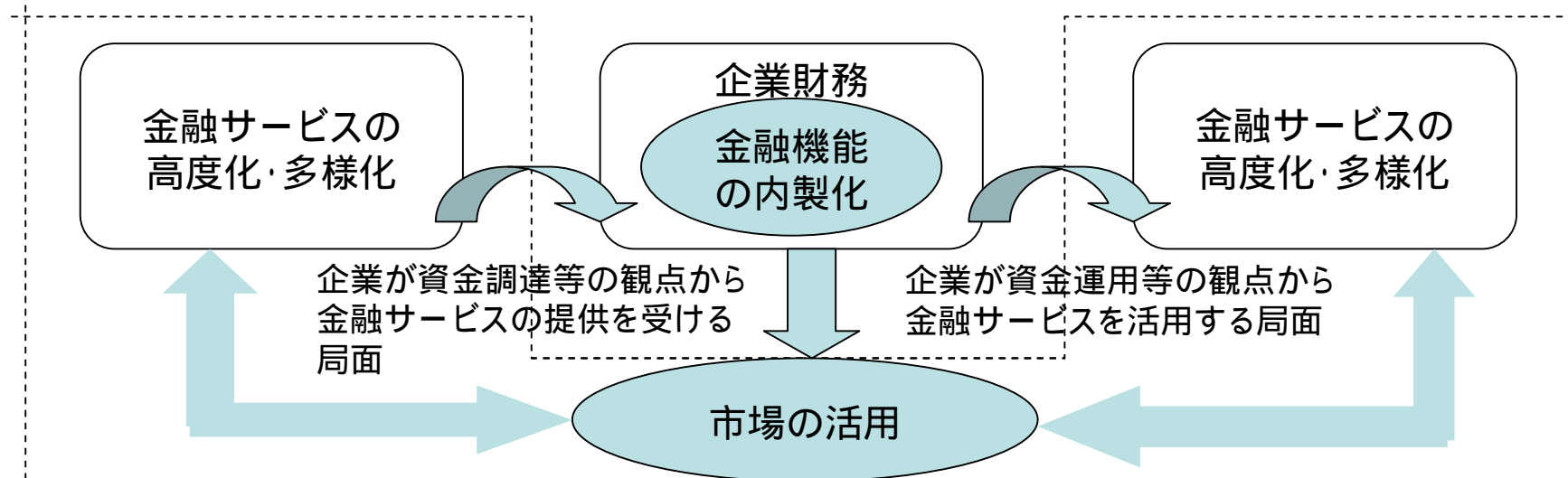
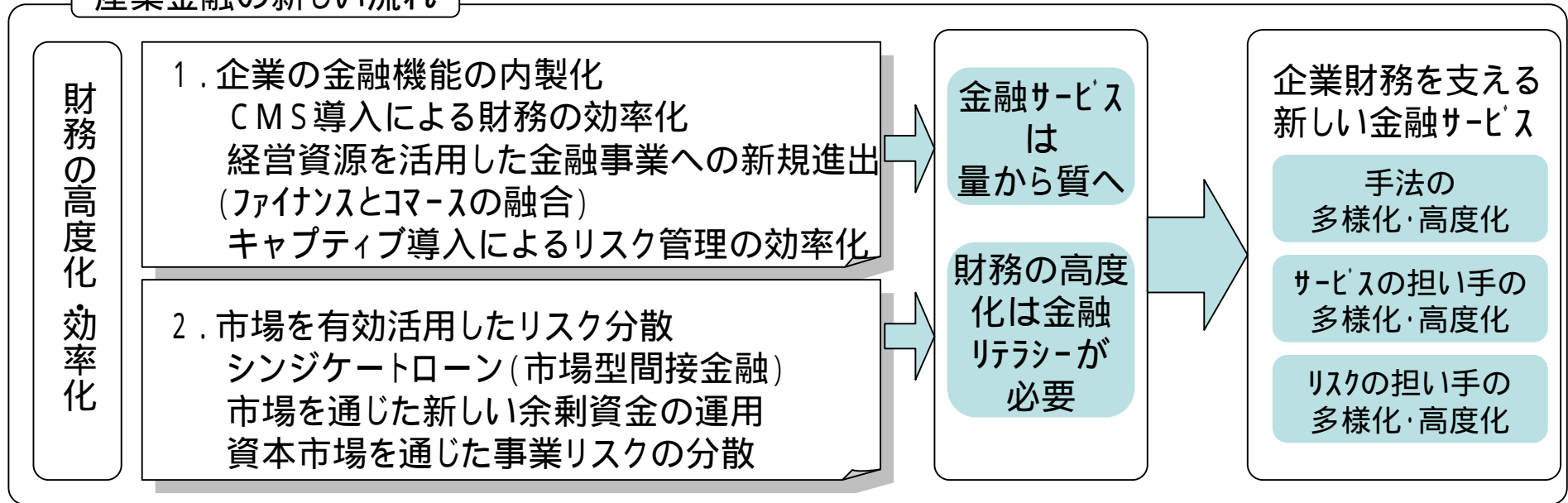
運用に関わる課題







産業金融の新しい流れ



1. 市場のリスク分散機能の活用

- (1) **ローン流通市場の育成発展に向けた環境整備**
電子債権を活用したローン発行・流通市場(電子債権市場)の構築【電子債権法(仮称)】
セキュリティ・トラストの導入による担保付ローン流動化の促進【信託法改正】
- (2) **資本市場を活用したリスクファイナンス手法の導入支援**
ファイナイト保険等新たな保険手法導入に向けた検討(会計・税制上の取扱の明確化)
CATボンド市場拡大に向けた環境整備(政策金融の活用等)

2. 企業による金融機能の内製化促進

- (1) **グループ内資産の活用の高度化支援**
グループ内貸金業制度の創設等を通じたグループ内金融の円滑化(キャッシュ・マネジメントの効率化)【貸金業法改正】
知的財産信託等、グループ内信託制度等の活用による信託機能の内製化【信託業法関係】
- (2) **リスクマネジメントの高度化支援**
地震災害等を対象とした準備金積立制度の導入に向けた検討
グループ内保険会社(キャプティブ)の創設に向けた検討【保険業法改正】

3. 金融・資本市場の基盤整備

- (1) **金融サービスの多様化に向けた環境整備**
運用型信託会社の使い勝手向上を通じたリスクマネー供給拡大【信託業法関係】
- (2) **リスクの担い手の多様化に向けた環境整備**
適切な投資家保護を通じた金融資本市場の活性化【投資サービス法(仮称)制定】
金融所得課税の一元化による投資促進【税制改正要望】